

<2023年度 U12・Jrリーグ戦 確認事項>

2023.04.05 OFA少年部

リーグ戦大会要項に記載されていない詳細について、確認した事項をまとめました。

要項同様、以下もよく確認してリーグ戦に臨むようよろしくお願いいたします。

【第一項】参加資格に関すること

*リハウスリーグに主体的に出場している選手は大田区 U12リーグには出場できない。

現在、8ブロックに登録していないチームでも大田区以外のチームでリハウスリーグに登録・出場している選手が所属している場合の考え方は同様。

主体的に出場していない選手のリーグ戦参加判断については、チームマネジメントによるものとする。

==複数チームエントリー(U12リーグ、Jrリーグ)==

1クラブが同一リーグに2チーム以上エントリーする場合、同選手が重複して出場することはできない。

前・後期それぞれ、リーグ開催中(1試合でも出場した場合)の入れ替えは不可。

前期から後期になるタイミングでの編成変更は可能。

==4年生のU12リーグ出場==

1選手に対してJrリーグ1チームとU12リーグ1チームとの重複出場は認める。

U12が複数チームある場合、同選手が両チームの試合に参加することは認めない。

==Jrリーグ2年生の参加==

原則は4・3年生での参加だが、編成上やむを得ない場合・当日必要な補充としての2年生参加は認める。

ただし、その際は2年生選手の成長・安全面を指導者が十分に配慮した上で責任もって参加させること。

==大田区内でのクラブ移籍==

移籍前クラブでのリーグ戦出場があった場合、移籍後のクラブでの同期内リーグ戦は出場不可。

ただし、前期中(後期開始前まで)の移籍の場合、後期のリーグ戦には出場を認める。

区外からの転校などによる移籍の場合は、移籍時期にかかわらず出場を認める。

【第二項】リーグ編成・運営方法に関すること

==U12リーグのブロック分けと編成==

◇前期:前年度後期の成績により、1・2・3部すべて昇降格確定後に自動編成。(別紙組合せブロック割表参照)

リーグ戦のエントリー状況に応じて、協会で検討し調整する場合がある。

◇後期:前期の成績をもとに、自動的にブロック編成する。(以下ベースとなる自動編成)

◇後期からの追加参加チームは3部に適切に割り振って編成を確定する。

==同クラブ複数チームエントリーの扱い==

◇複数チームエントリーは参加資格の条件に準じて行い、当該クラブは各チームに対応できるよう責任もって準備する。(指導・審判含めて) ※スタッフ不足による不都合日は認められない

◇原則として、同クラブの別チームが同ブロックに入らないように調整する。ただし、U12リーグ後期で調整ができない場合やJrリーグ後期の順位ブロックについては、同ブロックに同クラブのチームが入ることがある。年度や各期の変わり目においてチーム減がある場合、減らすチームはクラブの判断で決定する。

==複数エントリーしたチームの名称について==

- ◇1つのクラブが同リーグに複数エントリーした場合に、個々にチーム名をつけることを認めることとした。
チーム名は【クラブ名】+愛称という形とする(特に希望がない場合は愛称の部分をA・B・Cとする)
愛称の申告はエントリー時に行い、年度途中では変更しない(前期・後期の切り替え時も同じ愛称で1年間継続する)

==リーグ戦の進行・流れ(U12・Jr共通)==

- ①【少年部】 U-12 は自動編成、Jr リーグは代表者会議にて抽選を行い、ブロック決定する
- ②【少年部】 各ブロック担当チームを決定する ※別途マニュアルあり
- ③【少年部】 グラウンド割当について3週間前を目安に確定し、各ブロックに割り振る
- ④【各クラブ】 不都合日をブロックの運営担当チームに連絡する
- ⑤【ブロック担当】 不都合日の情報をもとに、試合スケジュールを2週間前には設定し、ブロック各チームと少年部に連絡する(できるだけ早い段階で)
- ⑥【運営担当】 試合を実施し、試合結果/メンバー表(写真データ)をブロック担当と少年部に報告する
(試合で問題があった場合には、ブロックで確認後少年部に報告する)

※基本的に③～⑥を繰り返す

- ⑦【少年部】 雨天中止や試合不成立に対応して追加のグラウンド振り分けをする
- ⑧【少年部】 リーグ戦の結果および進捗を確認し、各期終盤の残り試合調整を行う

※ 原則、前期の9月以降、後期の1月以降は、協会が試合管理を行う・状況によって、グラウンドの再配分するか、協会にて試合を編成するか判断し、リーグ戦を期間内に終了する。

==ブロック担当の決定方法==

- ◇各ブロックで担当を立候補するチームがあれば、優先して決定とする
- ◇抽選後ブロック毎に集まり、話し合いで決定する

《ブロック担当が行うこと》 ⇒ ブロック内の報告を取りまとめて、協会に報告する

- ◇割当グラウンドを利用して試合日程を調整し、日程・スケジュール作成の上、各チーム・協会に連絡する
- ◇試合結果・報告事項を確認し、協会に報告する
- ◇割当グラウンドに試合が設定できない場合、ブロック内で利用を調整する(未使用の場合は協会に返還)
- ◇試合当日(スタート時点)の実施判断。ただし猛暑・台風等、極端な天候に関しては協会で判断する

《配信用・報告用ファイル》

以下、各ブロック担当チームに配信します。各チームへの配信・協会への報告に活用して下さい。

- ・ ブロック管理用ファイル
- ・ 試合設定連絡用ファイル
- ・ スケジュール用ファイル(六郷用・ガス橋用・昭和島用・森ヶ崎用)

※新型コロナ対応のため、各チームに『参加者リスト』用ファイルを配信する(今後変更の場合アリ)

《試合当日の運営担当》

- ◇【試合結果集計用紙の準備】【結果の報告】【AED(六郷のみ)】【トラブル等対応・報告】
- ◇当日の運営担当に指定されたチームは担当を決め、協会やクラブからの連絡を受けられるようにしておくこと。人選は任せるがクラブ代表も承知しておく。本部張り付き不要。
(苦情が入った場合などに、協会 ⇒ クラブ代表 ⇒ 運営担当者 と連絡が入る場合があるため)

- ◇トラブルがあった場合、協会に報告する。可能であれば、その場で対応・解決が望ましい。
～～日にちが経過してからの調査・対応はこじれたり、事実確認が難しくなる場合があります。～～

【第三項】 競技規則に関すること

==ユニフォーム・装具==

- ◇試合時のユニフォームは、審判のジャッジに支障のないよう、各チームの判別がしやすい色合いになるよう試合前に調整する。
- ◇GKも原則適切なGKユニフォームを着用。色の調整が見つからない場合はビブスで対応する
- ◇ベンチの選手・コーチは、ピッチ内の選手と被らないよう配慮する(ビブス等を着用)
- ◇インナーウェアは色をチームで統一すること(ユニフォームと同色でなくても可)
- ◇原則、眼鏡は身につけない。(割れない素材のスポーツタイプの眼鏡、ゴーグルは使用可)

==レッドカードへの対応==

- ◇レッドカードにより退場者がでた場合は、交替要員から選手を補充し8名で試合を続ける。
交替要員がない場合は補充なしで6名まで試合続行とする。(ケガ人を無理にピッチに立たせるなどはしない)ただし、5名以下となる場合はその時点で試合を中断し、運営チームから少年部に報告する。
少年部は状況を確認・調査し、対応についての判断をして後日関係チームに通知する。
《試合成立》 《試合不成立再設定》 《没収試合(不戦敗)》 など
- ◇レッドカード対象選手の出場停止に関しては、原則協会では管理しない。競技規則に従いチームで対応する。ただし、何らかの問題があった場合は理事会、常任理事会にて協議する場合がある。

==選手交代(フリー交代制)==

- ◇フィールドプレイヤーはインプレー中に主審に告げずに交代できる。
- ◇フィールドプレイヤーは、必ず交代ゾーン(ベンチサイドのハーフライン両側3m)から出入りする。
- ◇ゴールキーパーはアウトオブプレー時に主審に告げて交代する。
- ◇ゴールキーパーの交代はゴール脇からアウト、交代ゾーンからインし、定位置についてから再開する。

==給水タイム (採用基準値等はリスクマネジメント参照)==

- ◇当日現場の気候条件・WBGT計の数値を基に、参加チーム協議の上、給水タイムを採用するか否かを各試合開始前に判断・決定して試合を開始する。(原則、勝手に主審の判断で採用することはしない)
- ◇概ね、前・後半それぞれの半分の時間を目安に、アウトオブプレー時に主審の合図で行う。
- ◇1分間を目安とし、ロスタイムにカウントしない。選手はピッチから出ない。
- ◇コーチからの指示は制限しないが、試合時間に影響を与えるような方法で指示を行うことはできない。
- ◇給水タイム時の選手交代を可とするが、必ず交代ゾーンで交代し、交代したことを主審に報告する。
- ◇再開方法は、アウトオブプレーとなった場所から主審の合図をもって適切な再開方法で再開する。

【第四項】 審判に関すること

- ◇冬季、黒系のインナー、手袋の着用は可。ニット帽、ネックウォーマーなどの着用は不可
- ◇審判に不測の事態が起こった場合は、主審チームから1名審判を補充して対応する
- ◇眼鏡の使用は不可(コンタクトは可)とする。やむを得ず必要な場合、ゴーグル式の安全なものとする

【第五項】 その他注意事項

- ◇サッカー協会への不都合日申請を行わない。必要に応じて各大会等で確認を行う。リーグ戦においては、

ブロック毎に担当チームにそれぞれ報告することとする。

◇リーグ戦では特に協会の大会本部は設置しないが、現場の判断で机や椅子を活用し、試合結果の集計等が円滑に出来るように準備する

== 第一試合開始までの流れ ==

- ① 設営 ピッチ設営(ライン引き)、運営準備(試合結果集計用紙)
- ② 代表者が集合して(ユニフォーム、審判打合せ、季節により給水タイムを採用するか等を)打合せを行う。

◇選手、審判は集合時間を必ず守り、試合開始時間を厳守する。～試合の円滑な進行に協力願います！～

◇試合結果は試合終了次第、主審が試合結果集計用紙に記入し、対戦両チームの指導者および審判が確認しサインをすること。

◇全試合終了後、試合当日の運営チームは試合結果をブロック担当チームに確実に報告し、ブロック担当チームから協会へ報告する。(集計用紙の写真添付での報告可)

== 駐車・駐輪 ==

◇駐車：グラウンド指定の駐車場、近隣のコインパーキングを利用すること。

薬局、ファミレスなど店舗への違法駐車は絶対にしない。

※特に駐車場の少ないグラウンドの利用時には、チーム内で乗り合わせて利用台数が少なくなるようにご協力をお願いします

◇駐輪：一般の歩行者・利用者に迷惑とならないよう、決められた場所・決められた範囲内にできるだけ詰めて整列駐輪を行うこと。

◇昭和島グラウンド

テニスコートも完成し利用者が増加しています。公園外側の駐輪場もご利用ください。

駐車場入口付近はカーブとなっており、原則道路での駐車場入場待ちは禁止です。

『リーグ戦、大会を通じて徹底して頂けるようにお願いします。』

== リスクマネジメント ==

◇AED

六郷グラウンド：グラウンドわき倉庫の中で保管・管理する。必要に応じては取りに行き使用する。

ガス橋少年グラウンド：丸子橋の袂にある交番に設置されているものを使用する。

昭和島グラウンド：管理棟内に設置されているものを使用する。

◇急な気象変化への対応

・「豪雨や雷」：打ち切り中止とし、速やかに撤収すること。

・「ひどい強風」：必ずゴールの固定状況を確認すること。

・「高温多湿」：計器(WBGT計)を使用し基準に基づいて、給水タイムの採用・試合の中止などの判断をする。

試合開始前に協会によって実施可否を判断できる場合は協会から連絡する

試合実施中については、試合継続可否について運営チームを中心に現地で判断する。

《給水タイムの基準となる温度》			《試合中止の基準となる温度》		
WBGT(湿球黒球温度)	乾球温度	湿球温度	WBGT(湿球黒球温度)		
25℃	28℃	21℃	31℃(原則中止)	28～31℃(嚴重警戒)	25～28℃(警戒)